自昭和三年
至昭和七年
雜録之要項

Copyright 日本建築学会

官	公	私
帝大教室教授	東京市美観審議会[illegible]顧門	東京工学院顧門
帝国芸術院会員	東京市[illegible]公園事業委員	早稲田工手学校校長
大蔵省営繕管財局[illegible]顧門	早稲田大学教授	[illegible]協会理事長
帝室博物館評議員	浅草寺[illegible]顧門	日本[illegible]会評議員
文部省[illegible]調査委員	日本名勝[illegible]顧門	[illegible]会[illegible]顧問
国宝保存会委員	東京工業学校[illegible]委員長	[illegible]会評議員
美術研究所評議員	[illegible]建築委員	建築学会委員
内務省造神宮使嘱託	[illegible]顧門	[illegible]研究嘱託
文部省[illegible]嘱託	[illegible]嘱託	[illegible]会評議員
宗教文化事業研究員	[illegible]委員	**その他十数の会員**
陸軍省[illegible]顧門	[illegible]委員	世界美術全集 編輯
東京工業大学講師	[illegible]理事	日本地理風俗大系 〃
	[illegible]理事	日本地理大系 〃
	[illegible]研究	他、他。
	[illegible]顧門	

K = [illegible]

D = [illegible]

S = [illegible]

L = [illegible]

Copyright 日本建築学会

天運循環

結句悉く塵々に帰す
秋の夜の夢は諸葛亮の遠懐

謎

●愚人出でよ
家貧賢妻を思ひ
国乱れて忠臣を思ひ
直きにして聖人出づ
国民小賢(ヲ)シリ(シテ)愚人を患ふ[illegible]
英雄出よと叫ぶ[illegible]可笑
自称英雄と真の英雄を思ふ乎
一つの咆哮山河を[illegible]震[illegible]獅子も不用
[illegible]を振ひ爪を牙を威を示す獅子も不用
虎の如く狐の如きを要せず。　イクタカアス
牛の如きを要す
黙々として終日働きて平然知らざるものを要す

十八回

汎[illegible]の沈	[illegible]	一月
日本建築の古今	[illegible]	二月
神社と建築	[illegible]	三月
天平時代の建築	[illegible]	三月
セセッションの回顧	[illegible]	四月
建築の論	[illegible]	五月
明治[illegible]	[illegible]	五月
中[illegible]建築の[illegible]	[illegible]	五月
江戸築城大観	東京市[illegible]	八月
建築[illegible]	[illegible]	八月
[illegible]	[illegible]	八月
東洋美術[illegible]	市[illegible]会	八月
日本建築の将来	[illegible]会	九月
建築の[illegible]	日本会	九月
東洋美術の[illegible]	有[illegible]会	十月
法隆寺の話	美術学校	十一月
現代建築の[illegible]	早稲田[illegible]会	十一月
	名古屋[illegible]会	十二月

西郷菊次郎

山田[illegible]

検定試験委員撰定 二月
定今度第一級件 三月
叙正三位 四月
早稲田大学教授委嘱 四月
検定試験委員嘱任付 四月
受賞 [illegible] 四月
[illegible]大臣[illegible] 六月
七件

〔十四〕
今井清雄 技師 一月
入沢[illegible] 一月
小寺[illegible]死 三月
新井[illegible]死 六月
多々[illegible]死 十一月
村井元子 結婚 十一月
桜田寿男 死 十月
七件

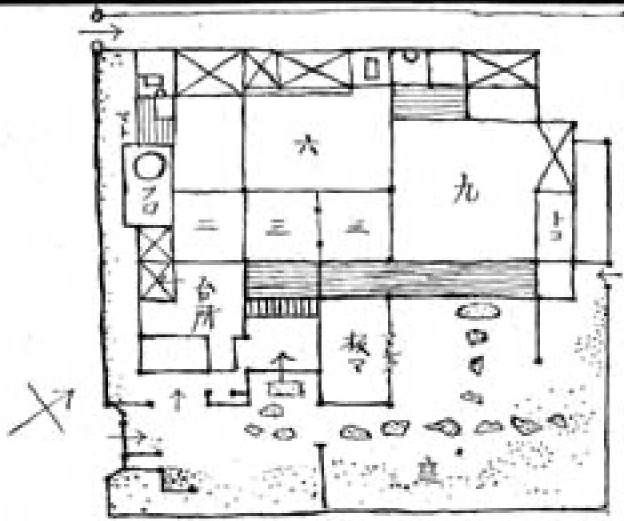
中川亀三郎
桜井ちかこ
山本[illegible]之助
高島[illegible]之
小出[illegible]
[illegible]長[illegible]

〔七月以後〕
胡西[illegible]
村松進一郎
大島久直
山中笑
板倉勝宣
酒井忠亮
川崎[illegible]
市瀬恭次郎
佐藤傳蔵
櫻井恒次郎
アルフレッド[illegible]
山崎四男六
久保田勝美
尾上[illegible]助
玉[illegible]播
西郷菊次郎

廣井勇
遠山椿吉
磯部[illegible]
唐沢[illegible]
板出[illegible]
中村[illegible]
[illegible]
ランジング
ローベルトコッホ
伊藤幸次郎
水島鉄也
南部[illegible]吉
岸本[illegible]太
甘[illegible]太郎
斉藤紀一
宇野朗
ヘンリー[illegible]
山田[illegible]太郎

Copyright 日本建築学会

西片町十 ⑫ の十三
七十八円



● 関係工事
大倉翁記念塔設計　七月
大倉翁墓標　八月
大倉集古館三重塔
道了大権現(大雄山最乗寺)諸堂
藤沢遊行寺本堂
築地東本願寺本堂及自堂
明治節記念館
北京図書館等
浅草本願寺異設計　九月
深子雷門　十月
伊曽乃神社境内改修案　十二月

● 時ト金ナラバ
万事時ヲ以テ解決ス ― 金ヲ以テ解決ス
事ヲ成スニ似ロ時ヲ以テ主 ― 借スニ金ヲ以テセヨ
時計アルベシ ― 金ノ利子ナレ
事ハ時ト共ニ推移ス ― 金ト共ニ推移ス

著作　木片集(五月)
合計　四十四冊

Copyright 日本建築学会

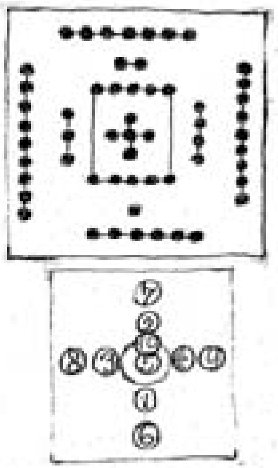
旅行

歴山、張騫、法顕、玄奘、
義浄、マルコポーロ、空海
善覚、
志賀、山崎、黒板、

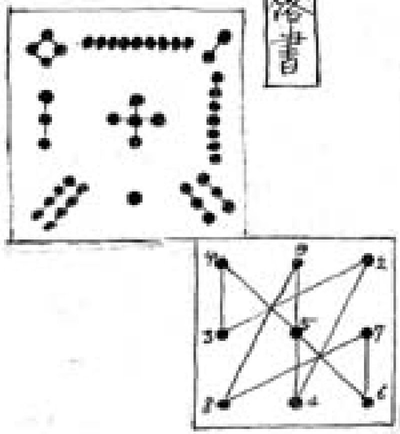
三傑

カエサル、[illegible]ポンペー、クラッスス
張良、蕭何、韓信、
文天祥、張世傑、陸秀夫、
信長、秀吉、家康、
木戸、大久保、西郷、
長岡、野口、本多、

河図



洛書



Copyright 日本建築学会

汪大燮
楊宇霆
珍田捨巳
原安民
丹下謙吉
永富雄吉
服部一三
久邇宮邦彦王
奥村[illegible]
長井長義
池田龍一
立花小一郎
村上敬二郎
川面凡兒
沢田正二郎
吉田彦六郎
松本剛吉
山本宣治
渡辺庄三郎
神保三郎
アヌツシユ
村上良房
杉田定一
吉川霊華

官公署営
聴続館 願門
沖縄神社 願門
東京工業大学講師 四月
…

故護
小酒井不木
池上四郎
宮崎虎之助
上杉慎吉
後藤新平
井上十吉
村井為吉
北條時敬
水野直
伊藤卓三

東洋建築の諸 断片 九月
現代建築の … 十月
神社の …
…

① 聖靈廟の建築 一月
② 日本を[illegible] 二月
③ 日本 … 世界 … 四月

東洋日本建築の … 長 五月
日本建築 … 六月
日光東照宮の建築 六月
日本建築の … 十月
寺院建築 八月

寺嶋誠一郎
川原茂輔
樋口秀雄
越山太刀三郎
内田嘉一

出雲大社教徒館
及その神社

1 阪急ビル修正工事 一月
2 寺野井口両博士墓塔 一月
3 [illegible]
4 [illegible]
5 [illegible]
6 [illegible] 五月
7 [illegible] 七月
8 … 八月

○善弱、悪強、　四月六日限

1. 善と悪

善悪の標準、社会の安寧と有利ナル[illegible]

其の時の善[illegible]道徳ハコレト時ト共ニ変ル。

絶対の善[illegible]

同情心、犠牲心、報恩心、
慈悲心、克己心と修養

2. 善弱の理

道理ニ順ヒ、人情ニ従フ。故ニ無理無情ナナイ。温良恭謙[illegible]

弱[illegible]ニ対スル例、[illegible]

[illegible]

時議と実弱、　重盛、正成

人ハ[illegible]

3. 悪強の理

道理ニ逆ヒ、人情ニ反スル兇暴、即チ強、

狂人と平人、

猛獣と人、

奸雄逆賊、盗、[illegible]畢竟自個本位、

4. 最終の勝利

強弱と暴力の問題、善が弱ク悪ニ、

悪ガ強イハ千古の通則今日ニ無ク、

最終の判決は暴力ニアラズシテ正義

一時負ケテモ永久的ニハ善が勝ツ

○歴史ヨリ見よ

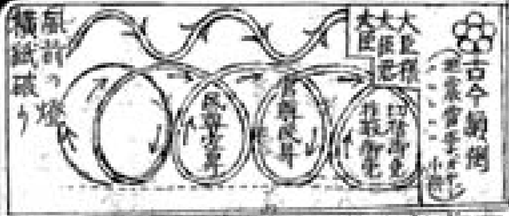
勧善ヲ[illegible]伝ヘル所以、今ヲ行ハヌ[illegible]

[illegible]ハ勝チ仁者ニ敵ナシ、無敵即チ[illegible]勝ツ、何ゾ正シイ人道、孔子ノ道

ソロノ点ニ於テ万古不滅ノ

天運ハ[illegible]ノ一部、義が勝ツハ

到底[illegible]



○古今顛倒の世ハ一直線ニ進マズ、「ファクター」が複雑ナル為メ波動上ニ向ヒ下ニ向ヒツ進ム顛倒の現象

前者ヲ見レバ後者の例、後者ヨリ見レバ前者ハ例、

大局から見ハ同動デナイ。

[illegible]近付ク[illegible]貪欲

道ヅク論ヨリ証拠

コリ論、貪欲[illegible]、塵積デ山トナル、山崩レテ塵トナル。

① 世の変遷

② 世は流転ナラズ

③ 波動的運動

④ 実例、

⑤ 前途

Copyright 日本建築学会

〇優者の悲哀

◎席次

〇[illegible]

〇新目標の効果

〇文明の功罪 第[illegible]

〇東洋の使命

Copyright 日本建築学会

○三昧に入る
◎三方面を立つ
◎外人の見たる日本の建築
◎[illegible]
◎衣食足りて礼節を知るか
◎宮殿建築と民家
◎東西藝術の[illegible]（接近）
1. 藝術論の意義
2. 鑑賞と繪画
3. [illegible]
4. 宗教
5. 現代の日本、東洋ならびに欧米
6. 東洋の現代藝術と欧米藝術
7. 結尾

今昔の旅
二十五、蛇
支那の旅
三十六 江戸
三十七

Copyright 日本建築学会

◎東西建築の比較から現代建築の正体まで

東西事物は違ふ

民族、骨相、体質、性質、趣味

習慣、宗式、姓名、年紀、労在、技術

衣、麻、絹、羊毛、羅紗、活動的と静

食、野菜と獣肉

住、材料、構造、軒の出、採光、屋根、(エレヴェーション)装飾、簡潔と濃

文化、人事と自然、自然に親む心

藝術、寫實と便化

氣候、風土、寒暑、乾濕、雨雪

地理、緯度、太陽の高さ

東西建築變遷方

添田壽一
中邨彌六
長谷川金太郎
藤田豊
笠井信一
山崎直方
伊東渠
津田梅子
神屋勝三郎
辻衛
箕浦勝人
羽太鋭治
朽木綱貞
小川一眞
波多野承五郎
平山成信
田中敬一

横川加燕
ストレーゼマン
桜田法上兵
杉本道山
高橋健自
ベルンハルト・フォン・ビユロー
河野[illegible](書史)
村上専精

井上勝之助
佐野義次郎
齋藤秀三郎
三宅米吉
岡田治衛武
クレマンソー
岸上鎌吉
白石村治
佐分利貞男
高橋義信
加太邦憲
青戸波江
高木益太郎
松平頼平
岸田劉生
野田俊彦
吉田作彌

Copyright 日本建築学会

今昔十話

○41 馬の数態
○42 牛
43 羊
44 鶏
45 豕
46
47
○48 獲物
49 畜生
50 人肉○
51 戦争
52
53 外国語
54 音韻
55
56
57
58
59
60

書画骨董の實物今昔東西今古實
一、天才ハ支那人
二、印度と桓公の鼎
三、端方と古銅器
四、日本人の巧妙
復製アジア作ルハ容易
戦争
一、財ト兵大キナル民族戦（国家、国、）
二、力ノ戦、智ノ戦、史精戦
三、日本古今ノ戦
四、支那古今ノ戦
五、西人の将来ノ戦
六、将来の航空中戦

最近印度の発掘（考古学的） 木村龍寛（佛界雑誌）四年九月
1 モヘンジャーダラ（Punjab）
2 ナランダ
3 パーハルプール
4 タクシラ
5 ウリッシヤ

建築様式は内容と調和を保つが為に東洋殊は日本有の趣味を発揮すべきものとす

Copyright 日本建築学会

略譜

履歴

二月 學術研究會議員ヲ辞ス 二月

檢定試驗委員被免 三月

仙台高等工業講師 四月

関係工事

二宮報徳神社 一月

佐賀佐嘉神社 三月

東京西本願寺 四月

廢帝王の行方

1. 獨乙 Wilhelm II.		和蘭ドールン
2. ブルガリア	フェルヂナンド	獨乙コーブルグ
3. アフガニスタン	アマヌラー	ローマ
4. ペルシャ國王		パリ
5. ポルトガル	マヌエル	イギリス
6. ギリシア	ジョージ	ロンドン
7. トルコ	アブヅルメヂド	フランスヴニース

東洋建築史概説（早稲田）

1. 東洋建築史概論

第1部 序論（一頁）

第2部 総論（十二頁）

1. 国土及国民
2. 文化の發達とその分類（四頁）
3. 東洋建築の特性（六頁）

第3部 各論（十八頁）

第1章 支那建築（十頁）

1. 總說 2. 環境 3. 都市 4. 仏寺 5. 回教 6. 陵墓

第2章 印度建築（八頁）

1. 總說 2. 宮殿建築 3. 仏教建築 4. [illegible] 5. 回教 [illegible] 6. [illegible] 7. [illegible]

三月二十日限 六十頁位 内原文三十頁位 挿図三十頁位

原稿 1040点（116頁）

製図

早稲田高等学院

理科・氏家隆曽

Copyright 日本建築学会

オランダ
和蘭
伊
西
葡
英
仏
独

漢 ｛語源 ソメル(漢), カムル(語).
朝鮮,
アイヌ
[illegible]
梵 バカ, カラダ, ダンナ,
印度 モール, サラサ, ベンガラ.
[illegible], [illegible], ラオ, ケ
印度支那, ナンバン, ラオ

Copyright 日本建築学会

By wind pressure

$$p = \frac{v^2}{37}$$

p = lbs per $\square$ foot

v = metre per second

進来答礼使五嬢

芦野きみ子　つばき
中村越よ子　さくら
徳田純子　ゆり
佐藤美子子　ぼたん
松平佳子　ふぢしか

Copyright 日本建築学会

建築の非藝術待遇
若かへり法
三の字

昭和五年度當時
辞令講話

辞令 6
関係工事 10.
講演 7
23

辞令
学術研究
会員
推薦
三月

指定試験委員
推薦
三月

全上補助付
三月

仙台高工講師
四月

支部へ出張
命ぜらる
四月

中部支部
総会講演会
講師

自信と独創
仙台高工 四月

建築家の見たる山形
山形 四月

日本建築協会
総会出席
東京 十一月

建築家と絵画
十一月

建築家と社会
札幌 十一月

現代思想と建築
朝鮮

日本建築協会
総会出席
東京 四月

建築事務所開設
四月

日本建築協会
総会出席
東京 五月

岡山後楽園拝観
七月

来賓の為め設計
名古屋 七月

在郷軍人分会
名古屋 七月

上野清水堂前建設
伊藤公追福ノ院葬場
深川霊岸島
北京関東軍司令部再考ノ案

設計建築家 十三
木暮幸介 六
野村福山
谷口鶴雲 七四
柳谷政三 六五
原田二郎 八二
原田恒吉 五七
福田徳三 五七
谷田文衛 七六
下村藤山 五八
八代六郎 六〇
田山花袋 六一
木村泰賢 五一

Copyright 日本建築学会

中尊寺 金色堂ノ覆堂ハ正応元年北條貞時之ヲ作ラシム
（天台） 延元二年一山野火ノ為ニ焼失ス（金色堂ヲ除ク）
寛元五年 東叡山寛永寺末トナル

馬＝At（トルコ）騂駒駃驘驢
＝Mori（蒙古）騾騟騠
＝Mar（ツンガース）
＝Mol 말（朝鮮）
＝Ma（支那）

北狄の良馬
北野の良馬

史記 匈奴之馬種

○化け物
一 幽霊との区別 ― 時間変化 形態変化
一 人生と化物
一 化け物の種類
一 支那
一 印度
一 西洋
一 日本
一 現代と化け物

四、盆栽観

㊅ 犬の歴史 ― 狗賊儀 犬之書籍
犬の支那の文献 ― 石の犬兎に吠ゆ／鶏鳴狗盗／狡兎死して良狗
犬と日本の文献 ― 古事記／桃太郎から／八犬伝
最も可愛く家庭的で頻に…
最も多種
西郷

高橋義人 六五
奥保 六五
大沢淳 六七
カーサス 五三
藤原和市 五四
村岡長右衛門 六六
志村源右衛門 六八
山科礼蔵 六七
島浅田 七四
御徒川道三郎 七四
穂風孫三郎 七四
川喜田安三郎 六四
ペータン・ヘッド 六四 五八

Copyright 日本建築学会

五月中
美術全集原稿 二十二日限（28日）
○キング原稿 三十日限
今昔物語 六月分 二十五日限（化物）
仝上 七月分 三十日限

山中鹿之助 [illegible] 大楠

○最後の瞬間まで
(1) 石田三成の最期
(2) 最後まで[illegible]
(3) [illegible]世[illegible]清盛（[illegible]）
[illegible]誇る[illegible]
潔く死する[illegible]命
楠正成
(4) 日本人の通弊
死を軽んず
[illegible]早過ぎる。

化物

五月 31 東京発
六月 1 ——
2 ——
3 ——
4 北京着（[illegible]、公使館）
5 北京滞在
6 〃
7 〃
8 〃
9 〃
10 〃（天津行）
11 〃
12 北京—雲岡
13 雲岡滞在
14
15 雲岡—北京
16 北京滞在
17 〃
18 〃
19 北京発
20 ——
21 ——
22 ——
23 東京着
24
25 夜東京発
26 仙台
27 〃
28 〃
29 〃
30 朝東京着

○
五月卅一日発
六月廿三日帰京
往復廿四日

朱啟鈐訪問
工藝會の交渉
模型の検査
図書館視察
講演
書籍購入
神仏の参考図書
壁紙屏風類等
江浦に請負

Copyright 日本建築学会

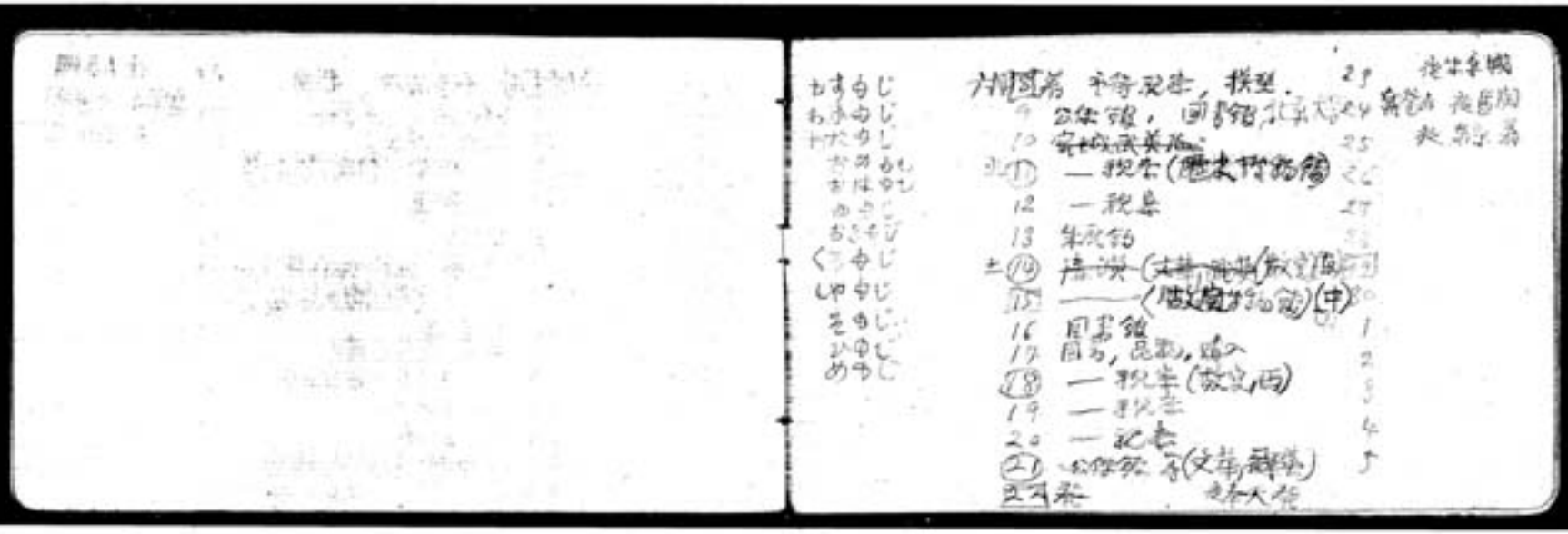
日程

5. 31 東京発
6. 4 北京着
6. 5 — 14 北京に滞在（十日間）
（一）北京市内及郊外
6. 15 — 24（十日間）
（二）北京より昌平，張家口を経て大同へ往復
6. 25 — 30（六日間）
（三）北京西山方面見学
7. 1 北京発
7. 2 奉天着
7. 3 — 9（七日間）
（三）奉天城内及郊外（四平街，撫順，瀋陽）
7. 10 奉天発，
7. 11. 吉林着
7. 12 — 14 吉林滞在
7. 15 — 吉林発
7. 16 — 瀋陽着
7. 17 — 19. 瀋陽及郊外
7. 20 — 24
（三）瀋陽大連間各地見学
7. 25 — 26. 大連見物
7. 27 大連発
7. 31 東京着

15	資料整理	5	29	主要個所
16	〃	6	30	北京及郊外
17	〃			西山碧雲寺
18	〃	6	31	明陵
19	〃	3	日	大同及雲崗石窟寺
20	〃	3		天津
21	資料整理	3		奉天及郊外
22	〃	〃		長春
23	休憩	〃		吉林
24	〃			瀋陽
25	〃			撫順
26	整理			大連
27	〃			
28				

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

煉瓦　　　　　　　　　　　　　　　　円
赤煉瓦　$25^{0} \times 6^{r0}$ = 1000 個　18.00
[illegible]煉瓦　　　　　　　　　　　22.00
大[illegible]　大 $25^{0} \times 5^{0}$ [illegible]　14.00
[illegible]　30×7 [illegible]　22.00
焼過き　　　　　　　　　　　　　　30.00
青瓦　　　一個 1.00 [illegible]

鉄
一[illegible] [illegible]
セメント
二才入り[illegible] 3.20
コンクリート用砂 100 [illegible] = 12.50
玉砂利　16.00

賃價
大工, 左官, [illegible] [illegible] .90
手伝, 土工 .60
電気, [illegible], ガラス[illegible] 1.50

材料
[illegible]材(紅松) 八尺長, 一[illegible] [illegible]一寸[illegible] 12.5
[illegible]
〃 (白松又杉松) [illegible] 9.8
〃 楠木 13.0
〃 檜木 14-15.0
米松 14.5
[illegible]松 16.5
南洋材 チーク 長へ又一寸 15.0
[illegible] 百斤 22 45.00

[illegible]

Copyright 日本建築学会

犬

古音 Kün 犬声ヲ象ル

大象形 形象文字

狗 音 Kön 注音声ナラン

説文ニ狗者叩也トアル音ヲ説明ス

種類多シ

尨ハ音 Pan 詩経ニ見エ、ムク犬ナラン

獒ハ音 áu 尚書左傳ニアリ 巨犬ナリ

狆 獅子狗ト云ヒ哈巴狗トモ云フ

車

車輪

1. 指南車
2. 戦車 — 乗車
3. 荷車
4. 馬車
5. 人力車
6. 汽車
7. 電車
8. 自動車

二輪車、一輪車、木牛

乗車 万乗、千乗、百乗

身長 城

身長ト体重

1 動物
2 人力
3 機械

支那建築施工

柱ノ上ニ煉瓦ノ粉末ヲ膠ニテ溶キタルモノヲ塗リ其ノ上ニ [illegible] ト下地ヲ出ス、コレヲ二回又ハ三回繰リ返ヘシ。ベンガラヲ塗リ、桐油ヲ [illegible] 又ハ二回、最後ニ boiled 桐油ヲヌリテツヤヲ出ス。

[illegible] 圓 [illegible]

圓 治

トアリセル様式ニ據ヘストテ [illegible]

[illegible]

Copyright 日本建築学会

城

一、字義
一、都城、村、邸、 1
一、柵と城
一、石城、
一、後三年 2
一、城の発達
天正―慶長
一、お土、大阪、聚楽、伏見、江戸 3
一、江戸城 4
一、現状、
一、城の備え
一、保存

Copyright 日本建築学会

昭和六年

氏名	年齢
ジョッツアル	七九
斯波淳六郎	六九
梅澤和軒	六一
大瀧勝三郎	八三
沢村真	六七
賀古鶴所	?
高島北海	八二
大槻如電	八七
渡邊千穂	五四
藤井健次郎	六〇
星野恒三郎	六一
新田忠純	六七
アンナ・パヴロワ	四五
羽波獨明	六五
植村永孚	八二
井筒嘉三郎	五二
廣田精一	六二
今泉雄作	八三
山下啓次郎	六四
二見鏡三郎	七六

氏名	年齢
松室致	八〇
岡本則録	八五
中島朋六郎	四七
山下源太郎	六九
山川健次郎	?
大塚保治	六四
鍋島[illegible]之助	六四
有尾敬重	六五
南部辰丙	七六
日比翁助	七二
湯淺一郎	六五
中島正武	六一
樹下東藏	七五
久米邦武	九三
関三十郎	五三

氏名	年齢
狩野探令	?
松浦五兵衛	六二
鈴木鼓村	五七
沢田吾一	七三

今昔小説 一
○五十五 屋根
○五十六 身長と体重
五十七 都市の人口
五十八 家の高さ
の五十九 宗教
六〇

氏名	年齢
鈴木鐵村	?
河合鈰太郎	六七
西	七七
本多日生	六七
チャールス・ロックホート	六九
三木三吉	七六
滝地吉三門	六七
来御房太郎	七三
ベルサン・ミユラー	五五
高嶋[illegible]	五六
マルト・ベンチサン	六五
鈴木三郎助	六五
鏡保之助	六五

Copyright 日本建築学会

高木俊之助	五三
新家卯平	五六
坂本三郎	六五
田辺碧堂	六八
玉利喜造	七六
アルベート・マイケルソン	七八
横山勝太郎	五五
斎藤昌治	五六
デヴィッド・ベラスコ	七七
桑原隲蔵	六四
久米局之助	七一
田付七太	六五
杉浦俊香	八八
浮藤博邦	六二
五十嵐敬止	七二
二所ノ関	四
守屋佐助	七一
早井五之亟	六八
北里柴三郎	八〇
北村季晴	六〇
後閑菊野	六六
男爵 山田次郎	七八

建築物の高さ

埃及ノピラミッド

バビロンの神壇

東洋方面

支那〔永寧寺塔、南京瑠璃塔、遼陽の塔、天寧寺、大塔院寺

日本 東大寺両塔

アルマ シュエダゴン

印度 クトブ塔、雀離浮図 無畏山塔、四十丈

ゴシック時代 シュトラースブルグ ウルム ケルン ミラン

ルネサンス時代 セントピーター セントポール

十九世紀 エッフェル塔

米 シンガー ウルウォース エムパイヤステートビル

現日本 東寺塔、議事堂

盗（十九字八十四行）

石川や
動物の本能ト為有權
道徳の制裁ー法律サグル、合法的盗
野蛮的盗之ヲ
文明的盗ト云フ
支那の盗心発達
文字の盗ヲ分ケ、無形の盗、始末ニいけぬ
精神的盗、意匠の盗、
日本ノ資本ノ時
盗術ハ進歩ナラサリ。

死

生と死
死を思ふこ恐怖ト心理
大悟セシテ悟ル天ト天命ハサタ
煩悶ト生死アノカ当然
支那人の死ノ感
釈ー死ハ帰
荘子ー八死ヲ楽ス
武士道ハ生死ヲ超越
死ヲ見ル事毛ヨリ軽シ
生命ヲ尊ブ事ヲ知ラズ、生命ヲ粗末ニス
日本の封建時代モ同し
今ハ勢力死ヲ避ク
自然ノ死ー天寿ー不治ノ病
災禍の死ーアクシデント、戦死
自殺

荒波元緘	六六
宮南部光臣	六七
伊地知壮熊	六八
丹羽正長	六九
島村議走	七〇
田中次郎	五九
坂湛	七七
町田咲吉	六二
木村鷹太郎	六三
人見絹枝	二五
都路華香	六二
則元由庸	七〇
湯地幸平	六三
坂町兼通	六九
九鬼隆一	八三
湯川寛吉	六四
浜口雄幸	六二
阪正臣	七七
一戸兵衛	七七
三浦周行	六一
吾孫子勝	五六
堤清六	五二
降旗元太郎	六八
鳳秀太郎	六〇
近藤達児	五二

獅子臺 三尺六寸ニ二尺一寸
獅身ノ高サ四尺

日支印宗教建築の對比

一、日本ハ神道、支ハ道教、印ハバラモンガ根底
二、日ハ欽明ノ時、支ハ明帝ノ時仏教来ル。ソノ仏教ハ印ヨリテハナナガ朝ヲ起ル、
三、日ハ仏建築ハ神社ト衝突セズ別ニ支那風建築ヲ以テ別式ヲ立ツ。
四、支ハ既往ノ宮殿建築ノ型ヲ襲踏シ
五、印ハ既往のブラーフマ思想の上ニ立チ別ニ新式ヲ立テズ
ヲブ別式ヲ立テズ。
六、印度ト印度、仏ヒンドゥナの諸宗アレドモ建築ハ同一式ナリ
七、支那ニ仏道儒の諸宗(道儒ハ宗教ニ非)あらず、アレドモ形来の式ヲトリ入レタリ。
八、獨リ日本のミ外来の式ヲトリ入レタリ。
九、日本の神社の建築ハ舊神ノ栄ルハ不可トセシナラン、支那式ガ相應ノヿト考ヘカラ
十、支那ハ無頓着ニテ印度式ヲトラズ、龍あらん
ダラール之様ニのみ印度式ヲトリ支那化セリ。

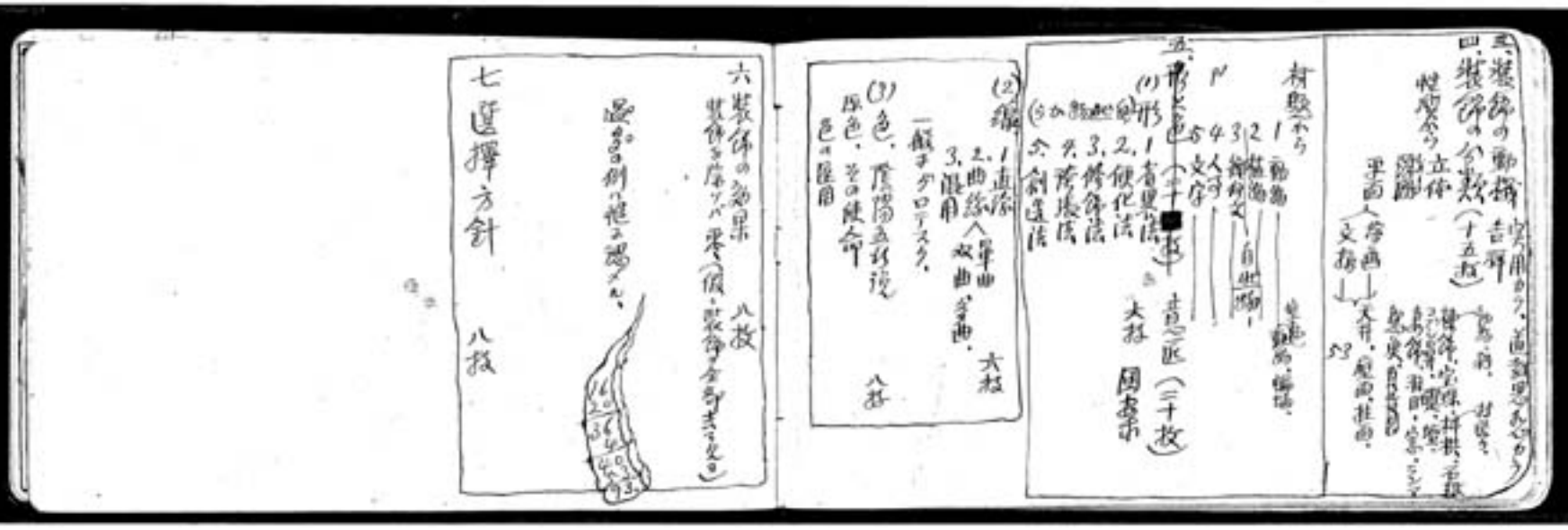
明治 十月五日以後

小堀鞆音	六八
湯原元一	六九
横田御助	五二
小池安之助	六八
三浦耀	四一
櫻井魁	八九
トーマス・ヂヨシン	八四
ブラウン・キツター	七〇
飯島廣三郎	六五
仙石貢	七五
片山国嘉	七七
土肥慶蔵	六六
瀧澤栄一	九二
大島録太郎	八?
山内長人	八二
竹内作平	六四
池田円男	六八
岡田日録	六八
濱田ピー・モリソン	八七
寺田甚吉茂	七九

日本畫家

奥田松五郎	八四
林平次郎	七四
花井卓蔵	六四
岡本武次	七五
尾竹越堂	六四
伊東祐弘	五三
兒島献吉郎	六八
松平直徳	六三

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

○講演

1 支那建築の特性 東北大学 三月
2 日本文化の由来 帝国教育会 五月
3 図案化された文字 七月
4 神社の話 一高輔仁会 九月
5 漢の建築の再吟味 朝鮮 十月
6 善光寺如来像伝来に就て 友子会 十二月

細迷軒伯知 七七
ブリテン 七二
石井敬吉 六七
ジョージ・イートストマン 七八
呉秀三 六八
本饒安綱 七九
水上浩躬 七二
阪東宣雄 六五

○昭和七年 1932

1 鵜島仙之助 七四 十二月二十七日
3 マリー・シーザ・ボー 八四
4 別府総太郎 五〇
2 石川舜台 九〇 十二月二十一日
5 池田桂仙 六九
6 原田鎮治 七二
7 樋口銅牛 六八
8 福原鐐次郎 六五
9 三宅やす子 四三
10 三宅守
11 大津淳一郎 七七
12 神田伯山 六一
13 戸塚環海
14 手賀精次郎 六五
15 井上準之助 六四
16 テーホかし・ダーレス 六七
17 弘津説三
18 谷口直貞 七九
河合吉安鏡 八五
万里小路通房 八六
国分業 七五

Copyright 日本建築学会

○工事

1. 浅草、善光寺設計 — 二月

[redacted]

3. 靖国神社貴賓館 — 五月より

2. 大阪、阪急ビル竣工事図案 — 四月

4. 有阪鉊蔵氏邸鳥居 — 八月

5. 靖国神社石鳥居、及稲荷大 — 九月

6. 橋本左内墓奎堂 — 九月

7. 高尾山石塔 — 十月

8. 一博文寺碑 — 十一月

9. 一高内、向陵神社 — 十二月

10. 鳥取女子高名寄贈ノ銅像ヲ表シテ表示 — 十二月

陰徳と陽報

○四月一日より

岡田信一郎
肥田昌之
江戸家猫八
高橋光威
末廣恭二
仁尾惟茂
伯松平直亮
ボクロフスキー
安楽兼道

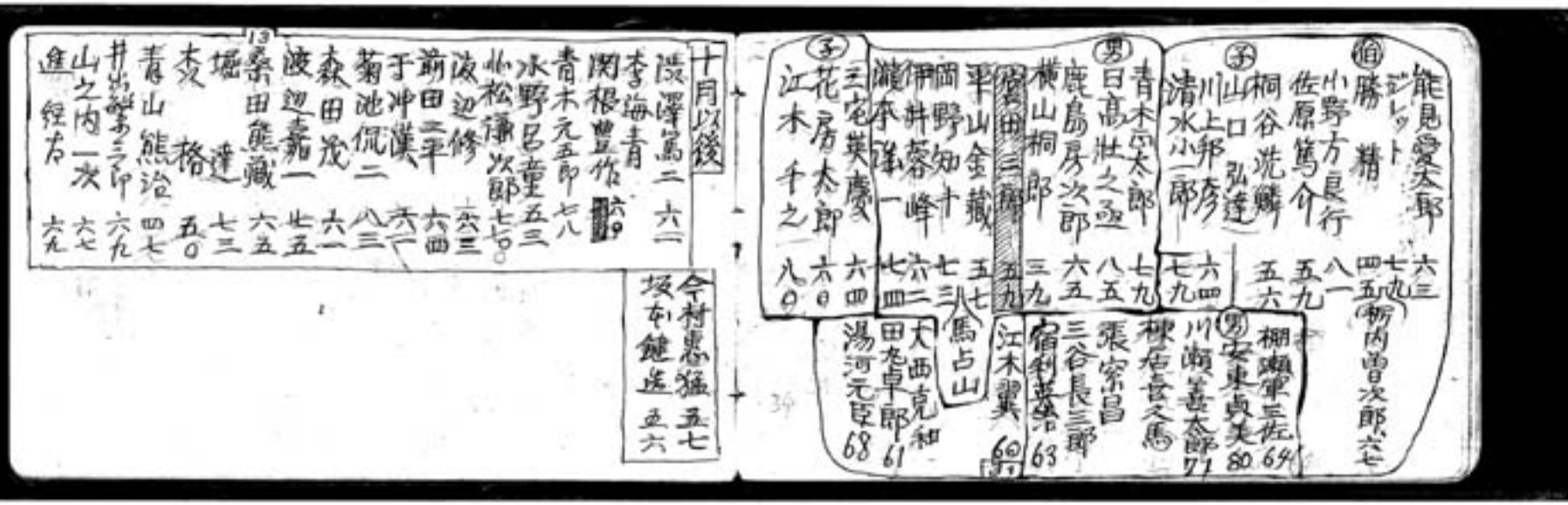
五〇 八三 六五 六六 五六 八五 七二 六四 八三

竹村欽次郎
河端貞次
ポール・ツーメ
久米金弥
田中王堂
宮崎虎二
犬養毅
男小原益吉
パート・タフト
今西龍
男○川
末延道成
関根正直

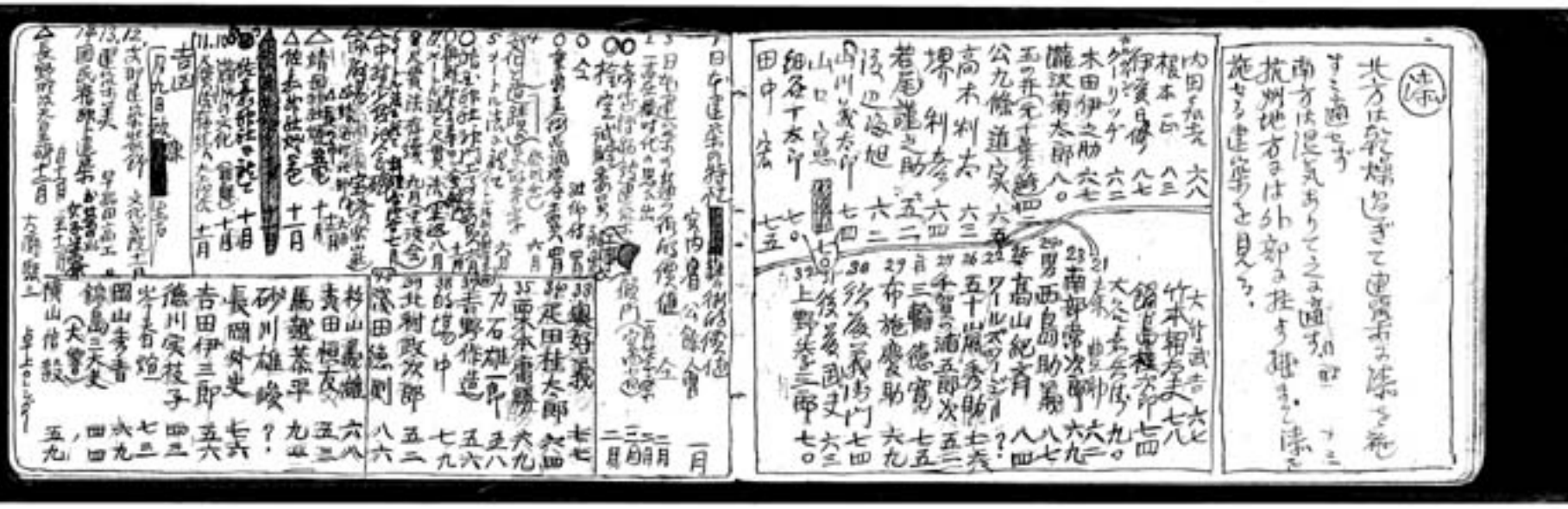
五九 七四 六八 六六 四九 七八 六二 八八 五八 六六 七八 七三

武田千代三郎 六六
木村庄之助 六四
山内多門 五三
白井光太郎 七〇
遠藤武治 五八
杉田雅たゝ 六七
西川鉄次郎 八〇
横山一平 七七
瀬川?三郎 七九
守田勘弥 四八
松下禎三 五八
井上乾 五六

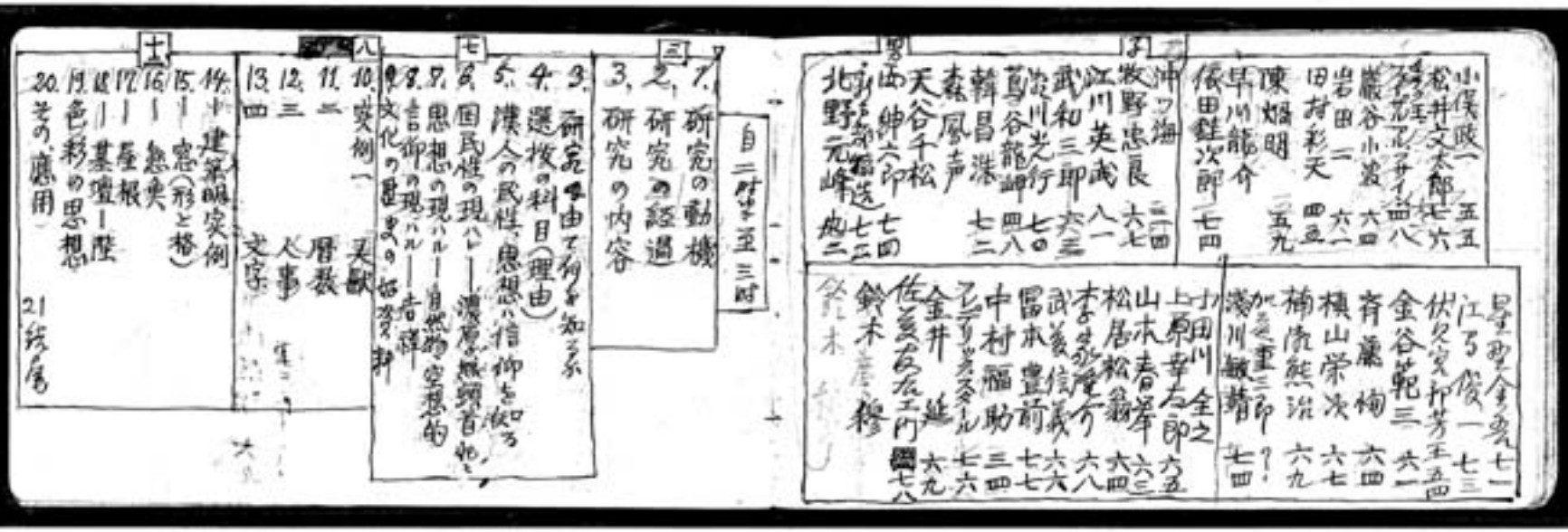
Copyright 日本建築学会



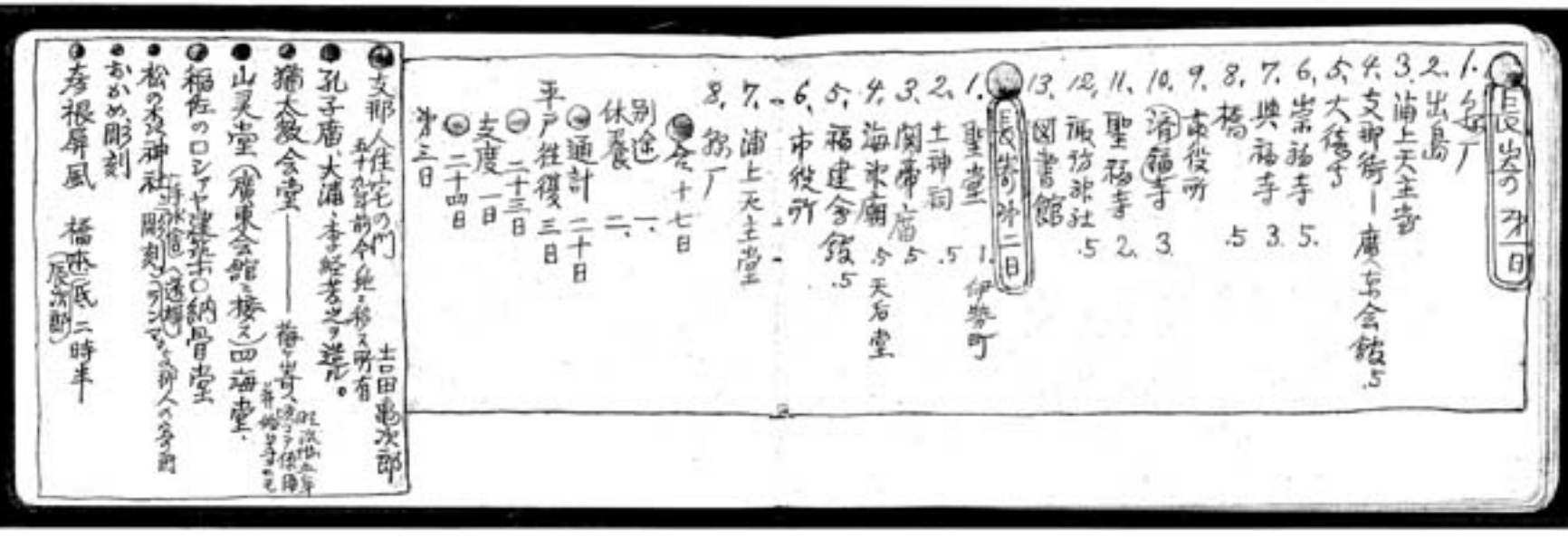
Copyright 日本建築学会



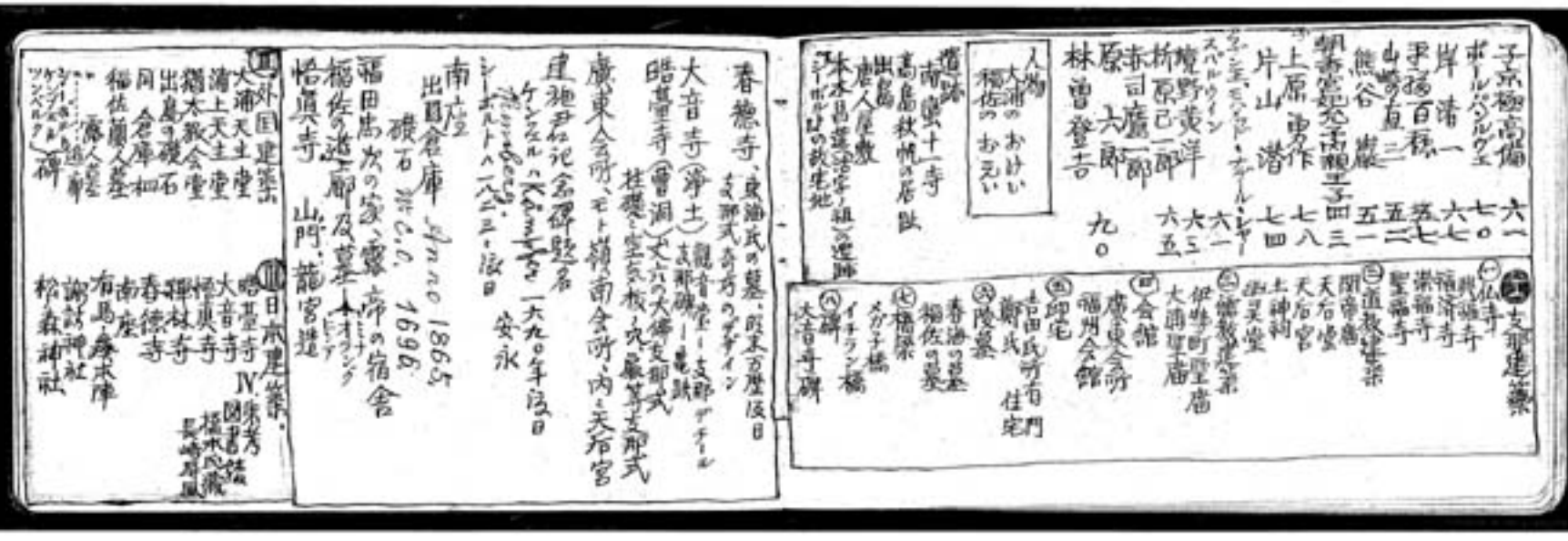
Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

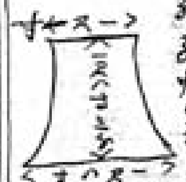
有末新吉 七四
オグスタン・ツルゴン 八二
樹山繁平 八四
男爵 [illegible] 六四
池田慶三 六七
内野辰次郎 六六
麻生太吉 七七
伯 山本権兵衛 八二 八六
矢作栄蔵 六四
西勝晋 五二
[illegible] 七三
鋳方徳蔵 六九
黒板傳作

略譜
吉凶 一
官公 六
関係工事 六
講演 一四
合 二七

西本願寺
第二期
假本堂寝殿移轉(和田堀へ)
バラック取毀し
敷地整理(阿弥陀堂門ニテ敷石(御影))
護岸工事(市ニテ[illegible]補助ヲ以テ自営)
役宅約十戸
樹木前庭、
總工費約十六七萬、
(提出ハ假本堂ヲ合ス十二(四)万円程)
期間五ヶ月ニシテ假本堂ヲ合セテ七ヶ月
コノ設計監督費ハ始メ五千円ナリシモ二千
円を要す。

工事延長
十二月末日ダガ
之ニ對シテ二ヶ月既ニ前渡リノ了
參考
今日迄(十月)三万二千円 三千ヶ月
外(小生の分)トシテ八千円アト一千円
總計二千円

佐藤功一 [illegible]



Copyright 日本建築学会

平易なことを六ケしく説くのが学者
つまらぬことを面白く書くの 文藝家

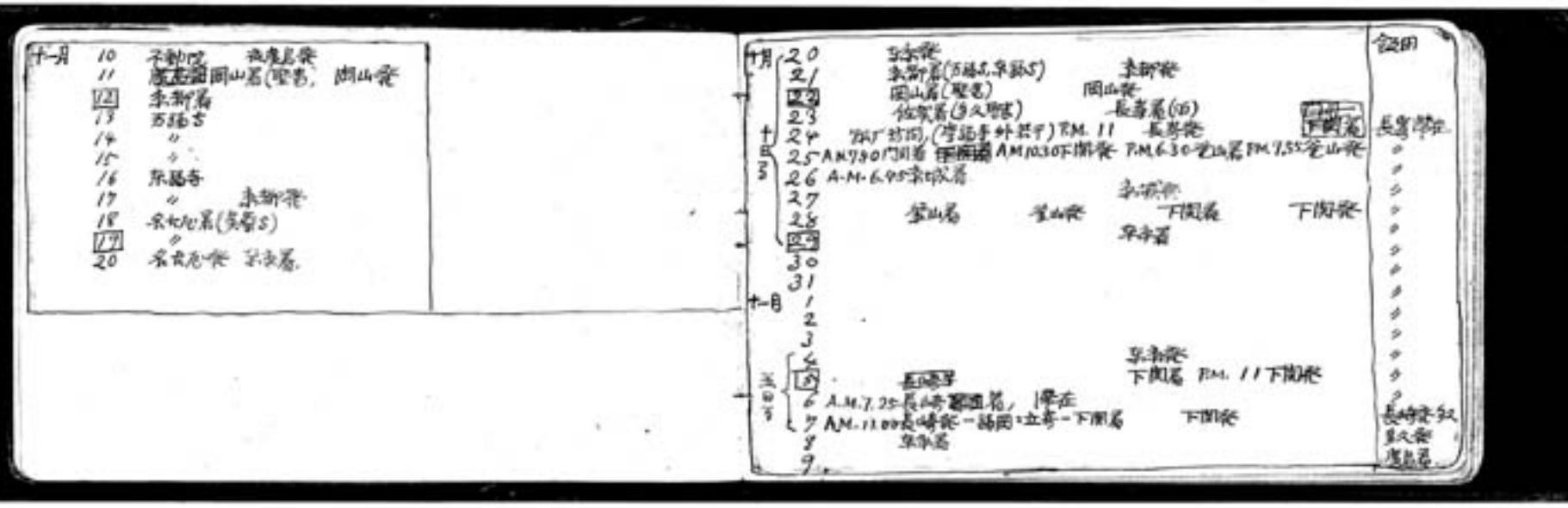
京雲の、都の空を出でしかど、
夕風ぞ吹く白河の駅、

都をばしかに火を吹出でしかど、
吹ひきあへぬに白河の駅、

十一月講演
支那建築の装飾（三十分間）

一、序言
二、支那建築は装飾の建築、その理由
三、装飾の分類、構造的、装飾的、及中言
四、構造的の実例
五、装飾的の実例其一、彫刻的及装飾
　　其二、彩画的（純絵画 / 文様）
六、〃
七、中言飾の実例 窓、扉、欄、
八、色彩
九、調度什器
十、店頭
十一、儀飾
十二、雑

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

日本橋 五六〇〇 築地[illegible]三番地
小石川 三四二〇 麻田[illegible]
大江新太郎

下谷二九六 森田[illegible]事務所
横浜市本牧町大島一六七六 村井清三
奥本五一
坂本鍵造
新海竹蔵
滝野川区中里町四二七

藤森保方
京橋区京橋三丁目二番地
片倉製絲紡績会社
京橋 三一六一 三一六六
井坂富士雄
高輪南町五三
電高輪 一二〇

電話南鍋一五三六

市外駒沢町[illegible]一八〇
[illegible]

東京府[illegible]小川三ツ木九三〇
木村栄三
木村富美

小川スツヂオ
小川三樹
東京府[illegible]
電話小石川三七九〇

Copyright 日本建築学会

56

京橋 五六〇〇
小石川 三四二〇
築地本願寺工務所
麻田駒之助
大江新太郎

下谷二九八永田神社工務所
横浜市本牧町大鳥一六七六 村井清三
奥村五一
坂本健造
新海竹蔵
滝野川区中里町四二七

藤森保方
京橋区京橋三丁目二番地
片倉製糸紡績会社
京橋 三一六一 三一六六

井坂富士雄
芝区南佐久間町二ノ三
佐々木事務所

中國營造學社緘
北平中山公園內
電話南局五一三六

市外駒沢町上馬一八四
[illegible]

[illegible]三ツ木九三〇
木村栄三
木村富美

小川スタヂオ
小川三樹
東京市外[illegible]
電話[illegible]

1 2 3 4 5 6 7

nt 日本建築学会

小林猪太郎　中落合　一一四七
入沢　四谷　一〇二七
鍋島経耀　青山　二六二〇
塩田清　麹町一丁目十
杉井角平人　大塚　二八三九
高橋　九四一
高橋　六九一一
小石川竹早町一〇

後藤義朱
杉村通造
橋川時雄
荒木清三
関鉄次郎
露公府小(?)胡同
宝珠子胡同七号

大工
中村徳次郎　本所町一五二山崎方
中川多吉　牛込町四〇

赤倉庚三　鎌倉大町　2433
北尾春道　鎌倉小町　305
二條邦基　西大久保　396
中井田　都外　駒沢　上馬　772
今(?)　滝の川町　田端　800

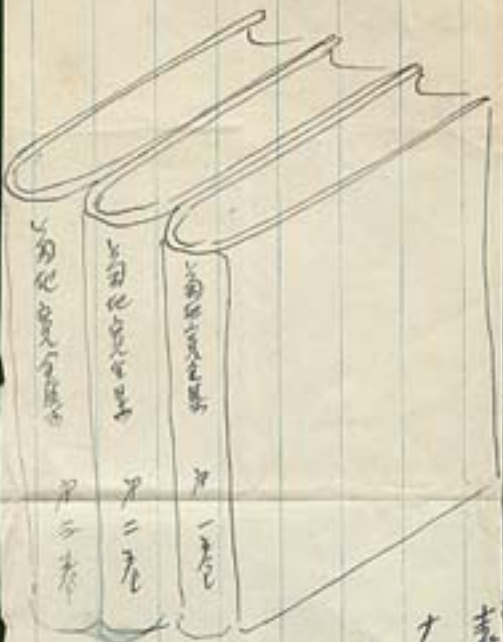
北平　王府大街東廠胡同　一号
東方文化事業総委員会　事務所
中華民国　北平　日本公使館
澤田湊之進
矢野一等書記官
東単牌楼大街
枝案饭
澤田氏方
橋川、杉村、
荒木
北平清華大学
銭稲孫
武昌路　八

Copyright 日本建築学会

自昭和三年
至昭和七年 難題之要項

W3

Copyright 日本建築学会



表紙 一冊
ナカミ 一冊
第一巻の最初の頁ヨリ
第三巻の終の頁まで
何ヶ條カ

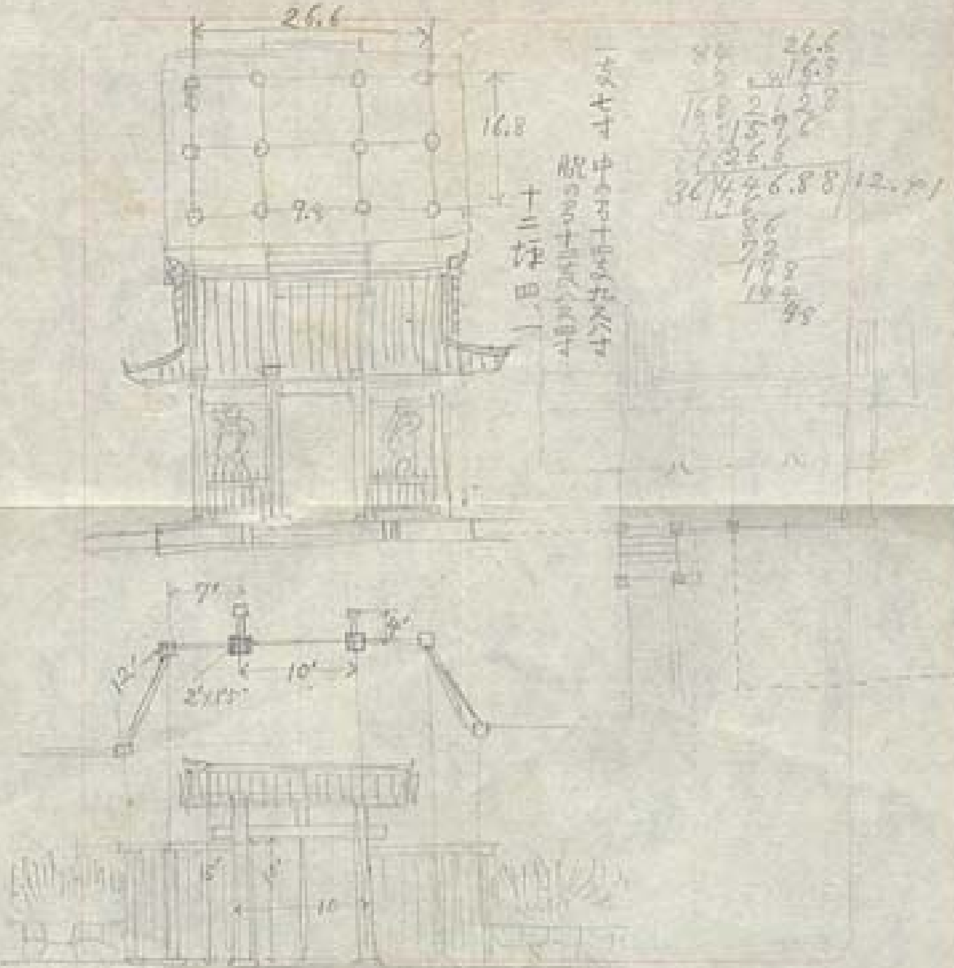
一二

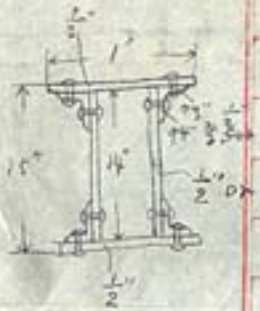
Copyright 日本建築学会

1823.

1690頃

Copyright 日本建築学会





リベット，距離，リベット直径ノ二倍半以上タルベキコト

リベット孔ノ中心ヨリ端ニ至ル距離ハ直径ノ一倍半以上タルベキコト

大梁ノ安全量ヲ現出ス法式

$$F = \frac{12ah}{3S} = \text{安全量} = \frac{12 \times 11'' 500 \times 14''}{3 \times 18'} = 35{,}777^{\text{lbs}} = 35^{\text{ton}}{,}777$$

$$a = \frac{3SF}{12h} = \text{フランヂノ面積}\ (\text{一方}) = \frac{3 \times 18' \times 35^{\text{ton}}8}{12 \times 14''} = 11''5^{\text{平方吋}}$$

F = 安全量 (ポンドヲ示ス)

a = フランヂノ面積 (一方)

S = 張間 (呎ヲ示ス)

h = 梁腹ノ高 (吋ヲ示ス)

Copyright 日本建築学会

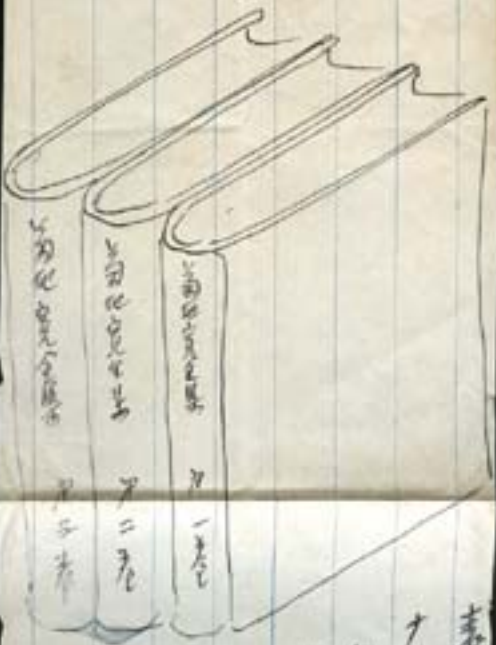
Copyright 日本建築学会

一、左記[illegible]

孔子曰四十而不惑
又曰知者不惑則
知[illegible]人生四十而知者

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



表紙　一冊
ナカミ　一才
第一巻の最初の頁から
第三巻の終の頁まで
何ま何かが
一二